

## 施策評価調書(30年度実績)

政策体系	施策名	芸術文化の創造	所管部局名	企画振興部	施策コード	Ⅲ-2-(1)
	政策名	芸術文化による創造県おおいたの推進	関係部局名	企画振興部、教育庁	長期総合計画頁	149

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	多彩で優れた芸術文化に触れる機会の提供	県立美術館における鑑賞・創作機会の提供	県民参加による芸術文化活動の推進と芸術文化を創造し支える人づくり	次代の芸術文化の担い手づくり

### 【Ⅱ. 目標指標】

i	指 標	関連する取組No.	基準値		30年度			元年度	6年度	目標達成度(%)				
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125
i	県立美術館入場者数(万人)	①②③④	-	-	50	57	114.0%	50	50					

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i 達成	「国民文化祭・おおいた2018」、「全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」等の関連事業として、近現代の日本美術の名品等を紹介する「京都国立近代美術館コレクション展」、国宝、重要文化財を含む名品を紹介する「東京国立博物館名品展」、全国の障がい者作品を紹介する「障がい者アートの祭典」を開催し好評を博した。	達成

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・別府アルゲリッチ音楽祭では、県民に優れた芸術を享受する機会を提供するとともに、国内外に向けて最高レベルの芸術イベント開催地として情報発信することができた。大分アジア彫刻展では、第14回展を開催したほか、国民文化祭特別企画として、「巨大寝ころび招き猫」の制作に協力し、展覧会期間中は、前回の約3倍の6,135人の方に来場いただいた。
②	・県立美術館では、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の開催に併せ、国宝展やメガスターなどの企画展を実施し、美術館開館後累計で200万人の来館者数を達成した。 ・県内17市町村の35校、52学級が県立美術館における鑑賞授業を実施し、小学校4年生982人が参加した。
③	・別府にて、世界的な彫刻家であるアニッシュ・カプーア氏の個展を開催し、国内外に情報発信を行うことができた。 ・国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭では、237万人を動員し、「新しい文化の創造・展開と次代を担う人材の育成」「障がい者への理解と社会参加の促進」「カルチャーツーリズムによる地域の活性化」などの成果を得た。
④	・大分の魅力発信をテーマとした絵画展を開催し、子どもたちが気軽に文化に触れる機会を創出した。(出品点数:23校から98点)

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(30年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	元年度の方向性	
①	別府アルゲリッチ音楽祭開催事業	50,000	A	継続・見直し	26
	大分アジア彫刻展	13,034	A	継続・見直し	27
	国民文化祭関連企画開催事業	11,620	A	終了	28
①③	国民文化祭開催事業	965,930	A	終了	249
②	芸術文化ゾーン拠点創出事業	90,000	A	継続・見直し	29
③	創造県おおいた推進事業	138,751	A	終了	30
④	子どもわくわく文化体験事業	21,802	A	継続・見直し	274

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

○第9回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H30.7)  
・国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭のテーマでもあるカルチャーツーリズムのように、地域性を活かした様々な取組とともに、地域文化や食体験なども一緒に紹介していくことが大事。

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立美術館では、「五感で楽しむことのできる美術館」「自分の家のリビングと思える美術館」「県民とともに成長する美術館」のコンセプトのもと、入場者数の目標達成に向けて、引き続き多様なジャンルに挑戦する企画展と集客力のある企画展をバランス良く実施する。</li> <li>・今後も引き続き、県内各地において多彩で質の高い芸術文化活動が行われるよう、優れた芸術文化を鑑賞し、参加し、創造することができる環境整備の充実を図るとともに、将来の芸術文化の担い手や鑑賞者を育むために、若者や子ども達の豊かな感性や創造力を育成する機会を充実する。</li> <li>・「国民文化祭・おおいた2018」「全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」での取組を活かし、「次代の芸術文化を担う人材、地域力の育成」「カルチャーツーリズムの推進」に取り組んでいく。</li> <li>・県立美術館において、子どもたちの主体的な鑑賞機会の充実を図るとともに、指導力向上に向けて教員自らが本物の作品を作ってガイド実践を行う。</li> <li>・特別支援学校生徒による芸術作品の展示や文化体験講座への参加など、障がいのある子どもたちが芸術文化に触れる機会の充実を図る。</li> </ul>